

平成 26 年度岐阜県図書館「図書館評価」

報告書

平成 27 年 8 月

岐阜県図書館

# 目次

1	岐阜県図書館「図書館評価」概要	1
2	自己評価の方法	1
3	外部評価の方法	2
4	平成26年度「図書館評価」	3
1	資料の収集・保存	3
2	図書館サービス	5
3	県内市町村図書館等への支援	9
4	職員研修・広報活動への支援	11

## (資料)

- ・平成26年度岐阜県図書館アクションプラン 評価シート
- ・数値目標と実績等

## 1 岐阜県図書館「図書館評価」概要

### (1) 図書館評価の目的

岐阜県図書館が果たすべき役割、目指すべき方向性についてまとめた「岐阜県図書館運営方針」の達成度をはかるとともに、図書館法第7条の3に基づき、図書館機能の向上と運営の改善を目的として図書館評価を行うものとする。

### (2) 期間

平成26年度から平成30年度までの5年間とする。

### (3) 評価の構成

#### ①評価項目

「岐阜県図書館運営方針」において果たすべき役割として掲げられている使命を実現するための指標を定め、それぞれについて目標値を設定する。

#### ②評価方法

指標に対する達成率として、以下の4段階による自己評価を行う。

評価	評価基準の内容	
S	極めて優れている。	取組や活動が極めて優れており、特筆すべきである。
A	良好である。	取組や活動が良好であり、目標が達成されている。 (数値目標の達成率100%以上)
B	不十分である。	取組や活動が不十分であり、改善すべきところがある。 (数値目標の達成率100%未満)
C	極めて不十分である。	取組や活動が極めて不十分であり、課題の整理・抜本的な計画の見直し・改善が必要である。

自己評価ののち、岐阜県図書館協議会による外部評価を行い、その結果を公表する。

### (4) 評価のサイクル

- ①アクションプランに基づく事業の実施(4月～翌年3月)
- ②当該年度12月までの取り組み結果について自己評価(中間評価)の実施(翌年1月)
- ③図書館協議会による外部評価の実施(翌年2～3月)
- ④中間評価結果及び外部評価を踏まえた次年度4月からの事業計画策定(翌年2～3月)
- ⑤当該年度の自己評価の実施(翌年3月～5月)
- ⑥図書館協議会による外部評価の実施(翌年7～8月)
- ⑦当該年度評価の確定・公表(翌年8月)

## 2 自己評価の方法

岐阜県図書館の使命「岐阜のひとづくり、ものづくり、まちづくりを支えます」を果たすために、効率性を発揮したサービスを実現するため、強化すべき取り組みの達成度を測る指標を定め、指標ごとの評価シートにより自己評価を行う。

評価シートの内容は以下のとおりとする。（評価シート：別紙参照）

- ・アクションプランと当該年度の具体的な取り組み結果
- ・評価項目
- ・実施状況
- ・数値目標
- ・数値目標と実績等（４段階）
- ・各指標、取り組みについてのコメント（自己評価）
- ・次年度以降の取り組み  
当該年度の問題点、改善点を踏まえた次年度以降の計画

### 3 外部評価の方法

評価シートの自己評価結果をもとに、岐阜県図書館協議会による外部評価を行う。

評価は、各指標について、目標値、取り組み、自己評価、今後の方策等に対する意見を図書館協議会の場で実施したのち取りまとめることによる。

## 4 平成26年度「図書館評価」

### ○はじめに

岐阜県図書館は、平成21年度の「岐阜県図書館改革方針」以後の図書館を取り巻く状況の変化を受け、新たに平成26年度から5年間の方針を「岐阜県図書館の運営方針 平成26年度～平成30年度」として策定した。

「運営方針」では、「資料の収集・保存」「図書館サービス」「県内市町村図書館等への支援」「職員研修・広報活動」の4つの柱を立て、年度ごとに「岐阜県図書館アクションプラン」を作成し、岐阜県図書館の使命を果たすための具体的な方策を実行してきた。

以下、平成26年度の取り組みに対して実施した、図書館評価の概要をまとめる。

### 1 資料の収集保存

県民の生涯学習と個人や地域の課題解決を支援するため、専門性の高いもの、特色あるものを中心に資料を収集・保存します。

#### 自己評価

##### 主な取り組み内容

【新規】今後の資料収集計画を視野に入れた保管スペースの検討

【新規】利用しやすい館内表示の検討

- ・県行政や地域の課題解決支援に資する専門性の高い資料の収集
- ・レファレンスサービスや「しらべかた案内」（パスファインダー）に連動した資料収集
- ・郷土資料や地図関連資料、児童図書研究室資料等の重点収集
- ・所蔵する CD-ROM や DVD-ROM の利用環境整備

##### 実施状況

別紙「評価シート」参照

##### 成果と課題

【今後の資料収集計画を視野に入れた保管スペースの検討】

【成果】書庫の使用状況を分析し、資料の増加予測、除籍等による抑制対策を検討の上、当面、収蔵能力に支障がないことを確認した。

**課題** 抑制対策の具体的な実施方針をさらに検討する。

#### **【利用しやすい館内表示の検討】**

**成果** 意見聴取の結果、①情報の整理②美観・環境③利便性④その他の4項目に分類し、館内表示の基本ルールを策定した。

**課題** 平成27年度以降、本ルールを基準とし、誤った表示、重複している表示、文字の小さい表示、汚損した表示を整理、順次対応していく。

#### **【県行政や地域の課題解決支援に資する専門性の高い資料の収集】**

**成果** 県行政機関や県立高校の購入希望調査を行い、それぞれのニーズに即した、課題解決支援に役立つ専門性の高い資料を収集した。

**課題** 地元の新聞記事等から積極的に地域の課題を把握し、資料収集を行う。

#### **【レファレンスサービスやしらべかた案内に連動した資料収集】**

**成果** レファレンスサービスで質問の多い内容や、館内に置いてある「しらべ案内」に関連する資料を積極的に収集したことで、利用者の課題解決に応える資料収集をすることができた。(例：H26年度に購入した「相続」関連図書20冊の貸出回数は延べ60回)

**課題** 最近5年間の新しい資料がない分野等について、優先的に関連図書の選書を行う。

#### **【郷土資料や地図関連資料、児童図書研究室資料等の重点収集】**

**成果** 郷土資料、地図関連資料、児童図書研究室用図書が充実し、県民や地域の課題解決を支援する特色ある資料を収集・提供することができた。

デジタル化された行政刊行物を収集する際、著作権許諾について担当部署に個別に問い合わせ・確認する必要があるため、手続きの簡素化をはかり、従来の許諾書の書式を変更した。

**課題** 引き続き重点収集に取り組んでいく。

#### **【所蔵するCD-ROMやDVD-ROMの利用環境整備】**

**成果** 所蔵するCD-ROM等の動作環境が最新のパソコンの環境では保証外であるため、3月のシステム更新時に導入するパソコンで利用頻度の高い順にCD-ROM、DVD-ROMの動作確認を実施した。

**課題** 利用頻度の低いCD-ROM、DVD-ROMの動作確認は、利用者からの資料要求に応じて実施する。

#### **【図書館協議会による意見】**

- ・丸善は、どこにどんな本があるかがひと目でわかる表示があり分かりやすい。県図書館も、良い点はまねをするとよい。
- ・保管スペースの確保については、逼迫する前にきちんと手当をお願いしたい。

- ・他県では県立図書館が持っているほとんどの本を、同じ県内の市立図書館を持っていることがある。蔵書という視点から、これでは県図書館としての意味がない。蔵書について県図書館と市立図書館がよく連携する必要がある。県図書館も、調べてみるとよい。

## 2 図書館サービス

- ① 県民の読書活動を生涯にわたって支援し、図書館を生かした学びの機会の提供します。
- ② 行政機関や社会教育機関、地域の企業等と連携しながら、資料の提供・レファレンスサービス等を通じて県民や地域の課題解決を支援します。
- ③ コンピュータシステムによる検索機能の強化、特色ある資料のデジタル化の推進、インターネット等を活用した情報発信の充実によって、情報サービスの向上を図ります。

### 自己評価

#### ① 生涯学習の支援及び施設を利用した学習機会等の提供

##### 主な取り組み内容

- 【新規】高校を対象にしたセット文庫の整備
- 【新規】特集コーナー設置による読書活動支援
- 【新規】文化・学術活動やまちおこしの場の提供
- ・児童図書研究室資料を活用した、子どもと本を結ぶ活動・研究の支援
- ・児童図書研究通信の発行
- ・対象別おはなし会の実施
- ・視覚障がい者サービス協力者音訳講習会中級課程の開催

##### 実施状況

別紙「評価シート」参照

##### 成果と課題

#### 【高校を対象にしたセット文庫の整備】

**成果** 高校への希望調査により、ニーズに合ったセット文庫を 18 セット整備することができた。

**課題** 現場職員からのニーズを「リクエスト申込票」により収集し、セット内容の充実を図る。

#### **【特集コーナー設置による読書活動支援】**

**成果** 郷土に関するもののほか、話題になったニュースや時季に応じたテーマで特集コーナーを設置し、利用者の関心に応えることができた。

**課題** コーナー設置については、計画的に実施し、事前に広報を行う。不定期・時事的なものはツイッター等で PR に努める。

#### **【文化・学術活動やまちおこしの場の提供】**

**成果** 有料による施設利用は 3 年目となり、リピーターを中心として利用件数が増加してきた。また、県内部における利用料の支払いについては、公金振替により対応し会計事務の簡素化を図った。

**課題** 今後新規利用者の拡大を図るため、きめ細かな広報に心掛ける。

#### **【児童図書研究室資料を活用した子どもと本を結ぶ活動・研究の支援】**

**成果** 新着リストを作成・掲示し、児童図書研究室の活用促進を図った。

児童図書研究室資料のパッケージを 2 件（「児童文学入門」「国際アンデルセン賞作家代表作」）作成し、ホームページに掲載した。

**課題** 引き続き新着リストの作成・掲示など、情報発信・提供に努め、児童図書研究室の活用促進を図る。

#### **【児童図書研究通信の発行】**

**成果** 「児童研究室の使い方」や「児童図書研究室に入った新刊本の紹介」等の情報を掲載し、県内市町村図書館等の児童サービスへの活用を促すことができた。

「児童サービス実践研修講座」「児童図書館員養成専門講座」の受講報告を掲載し、児童サービスに関連する情報提供を行った。

#### **【対象別おはなし会の実施】**

**成果** 対象別おはなし会を毎月継続的に開催し、子どもたちに絵本や読書の楽しさを伝えることができた。

**課題** 多くの子どもたちにおはなし会へ参加してもらえるよう、引き続きおはなし会前の声かけや、お知らせの掲示などで積極的に PR する。

#### **【視覚障がい者サービス協力者音訳講習会中級課程の開催】**

**成果** 録音図書製作ができる視覚障がい者サービス協力者を養成し、音訳図書の製作に資することができた。講習会修了者は各自 1 冊ずつ録音図書の音訳に取り組んでいる。



## ② 課題解決の支援と他機関との連携

### 主な取り組み内容

【新規】課題解決支援のための行政機関との連携の模索

- ・レファレンスサービスや「しらべかた案内」（パスファインダー）に連動した資料収集（前掲）
- ・図書館活用講座の開催
- ・課題に沿った「しらべかた案内」（パスファインダー）の作成・充実、利用促進

### 実施状況

別紙「評価シート」参照

### 成果と課題

【課題解決支援のための行政機関との連携の模索】

**成果** 県文化財保護センターの企画展示や県美術館の企画展に合わせた資料展示により、県民の関心を高めることができた。

**課題** 社会教育機関に働きかけ、新たな需要を掘り起こす必要がある。

【図書館活用講座の開催】

**成果** 読み聞かせ講座では「受講が県図書館を利用するきっかけとなった」、図書館探検では「県図書館の特色を理解することができた」「レファレンスサービスを利用してみたいと思った」等の感想を得、図書館の利用促進につなげることができた。

**課題** 年度ごとのテーマを設定するなど、県民のニーズに合った講座を開催する。

【課題に沿った「しらべかた案内」の作成・充実、利用促進】

**成果** 「岐阜県の郷土料理を調べる」は学校で授業に使いたいという反響があった。しらべかた案内 11 件の改訂と 3 件の新規作成を行い、公開した。

## ③ 情報サービスの充実

### 主な取り組み内容

【新規】蔵書等検索の利便性向上

【新規】「岐阜県総合目録」の利便性向上

【新規】新しい情報端末への対応

- ・地図資料のデジタル化とインターネット上での公開
- ・岐阜県関係新聞記事のデータベースの充実
- ・デジタル化された資料のインターネット上での公開

- ・「しらべかた案内」（パスファインダー）のインターネット上での公開

### 実施状況

別紙「評価シート」参照

### 成果と課題

#### 【蔵書等検索の利便性向上】【岐阜県総合目録の利便性向上】【新しい情報端末への対応】

**成果** 図書資料・新聞雑誌記事・デジタル化資料を一括で検索できるようになった。総合目録の検索結果の表示までの時間が短縮されたり、スマートフォン等の新しい情報端末に蔵書検索を対応させたりすることができた。

#### 【地図資料のデジタル化とインターネット上での公開】

**成果** 岐阜県関係の古地図のうち約9割のデジタル化を完了した。

#### 【岐阜県関係新聞記事のデータベースの充実】

**成果** データ作成件数の目標は達成でき、データベースを検索してもより多くの情報を提供することができるようになった。

**課題** 新聞記事データを引き続き作成し、郷土関係記事データベースの内容を充実させる。

#### 【デジタル化された資料のインターネット上での公開】

**成果** デジタル化資料の内、郷土資料はページ送り機能を、地図資料は拡大表示機能を付加するなど、利便性の向上を図ることができた。

**課題** 今後もデジタル化資料のインターネット公開を進める。

#### 【「しらべかた案内」のインターネット上での公開】

**成果** 当館利用者だけでなく、市町村図書館等でレファレンスツールとして使用されるようになった。

**課題** 効果検証のために、「調べ案内」の利用状況を把握する方法を検討する。

### 図書館協議会による意見

- ・特集コーナーでは8月は「怪談」、7月「うなぎ」をテーマに、図書館がもっている本の紹介をしているが、利用者が普段選ばない本との出会いがあってよい。
- ・書庫と開架の本を入れ替えるとよい。利用者が書庫に入れるようにする。古い資料を見てもらい機会を作ってほしい。
- ・背表紙だけではなく、表紙を見せていただいて、本と出会えるような取組をしてほしい。
- ・学校では本好きの子どもは増えている。しかし、感想文を書くことに抵抗がある。県図書館で、「読書感想文教室」を開いてはどうか。

- ・入館者数、貸出冊数よりも、レファレンスの満足度等を大切にしてほしい。
- ・セット文庫等の図書館での様々なサービスの利用は、校長あての文書があると、末端まで情報が届き、司書は動きやすい。
- ・課題解決支援について、行政機関との連携とあるが、教育委員会なのでの連携が多いように思う。ビジネス支援など、知事部局との連携も考えられないか。
- ・入館者数や貸出冊数で県図書館を評価するのではなく、県民や市町村図書館、県行政を支援する「支援図書館」としての役割を果たすなど、県図書館としての独自性を打ち立てる時期にきている。

### 3 県内市町村図書館等への支援

市町村図書館等の相互協力や連携の推進、職員の資質向上に努め、県内図書館のサービス向上を支援します。

#### 自己評価

#### 主な取り組み内容

- 【新規】相互協力の充実
- 【新規】職員の派遣や受入れ等による研修の実施
- 【新規】ホームページ上の掲示板による情報共有
- 【新規】平成27年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）の開催準備
- ・市町村図書館等職員に対する階層別目的別研修の実施
- ・県内市町村図書館等への巡回による助言・指導
- ・児童サービス実践研修講座の実施

#### 実施状況

別紙「評価シート」参照

#### 成果と課題

##### 【相互協力の充実】

**成果** 市町村図書館等の相互貸借担当者の研修を初めて他の研修会とは別に単独で行い、円滑な運用に資することができた。

**課題** 新書誌情報システム導入に伴い、新たな相互貸借システムの運用に関する研修を実施し、スムーズな相互貸借をすすめる。

#### 【職員の派遣や受入れ等による研修の充実】

**成果** 当館職員を講師として派遣した研修では、講義内容が具体的で有意義だったと高く評価され、市町村図書館等職員の資質向上に寄与することができた。

岐阜市職員 19 名を受入れ、レファレンスを中心に現場研修を実施し、平成 27 年度に開館する岐阜市立中央図書館での業務のシミュレーション実施に寄与した。

#### 【ホームページ上の掲示板による情報共有】

**成果** システム更新に伴い、図書館専用ページに掲示板機能を備えたホームページを作成した。

**課題** このページを活用し、県内図書館間の情報共有を図る。

#### 【平成 27 年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）の開催準備】

**成果** 11 月の全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）の開催に向け、岐阜県公共図書館協議会の理事を委員とする実行委員会を立ち上げた。

**課題** 開催要項、事業計画、予算をもとに大会を開催する。

#### 【市町村図書館等職員に対する階層別目的別研修の実施】

**成果** 合計 5 種類の研修を行い、全県域での職員の資質向上に資することができた。

**課題** 引き続き専門知識を習得できる場として、時機に合った研修を実施する。

#### 【県内市町村図書館等への巡回による助言・指導】

**成果** 図書館・図書室を直接訪問することで、各館の課題に対する助言や意見交換をすることができた。

**課題** 県図書館から情報提供や助言を行うなどの支援をするなかで明らかになった市町村図書館等が抱える共通の課題について検討し、意見交換等に反映させる。

#### 【児童サービス実践研修講座の実施】

**成果** 障がいのある児童へのサービス提供についての知識向上に資することができた。

**課題** 受講生から収集した意見をもとに、講座計画を作成する。

#### 【図書館協議会による意見】

- ・市町村図書館は、県図書館のまねをしてしまうところがある。市町村図書館の役割を自覚してもらえるような研修会を考えてほしい。
- ・県図書館に来館してもらうことも重要かもしれないが、県図書館にある資料を県内市町村図書館に提供して、県民に利用してもらうことが大切。

## 4 職員研修・広報活動

多様な研修によって職員の資質向上に努めるとともに、効果的な広報活動の実施により、県図書館の周知の向上に努めます。

### 自己評価

#### 主な取り組み内容

- 【新規】新しいコミュニケーションツールを駆使した情報発信
- ・館内での会議等を利用した研修の実施
  - ・他団体の主催する研修会への職員の積極的な派遣
  - ・ホームページの一層の充実による情報発信
  - ・地図作品展や地図活用研究会の成果を活用した授業の実施による当館地図資料の広報
  - ・図書館活用講座の開催（再掲）
  - ・行政機関との連携事業（再掲）
  - ・図書館見学の受け入れ

#### 実施状況

別紙「評価シート」参照

#### 成果と課題

##### 【新しいコミュニケーションツールを駆使した情報発信】【ホームページの一層の充実による情報発信】

**成果** ホームページのほかツイッターも活用して、より細やかな情報発信ができた。

**課題** 図書館の行事や催物の情報を随時発信していくほか、新着図書や司書のおすすめ本の紹介もしていく。

##### 【館内での会議等を利用した研修の実施】

**成果** 月末の図書整理日に行う全職員を対象とする全体会議において、防災訓練や各種研修報告、接遇研修等を行い、課題の共有と課題解決に向けた取組の意識統一を図ることができた。

##### 【他団体の主催する研修会への職員の積極的な参加】

**成果** 県外の専門講座や研究集会等に職員を積極的に参加させ、職員の資質向上と同時に、研修講師となる職員の育成ができた。

**課題** 経験年数や必要なスキル、内容・バランスを考慮した計画に基づいて参加させる。

##### 【地図作品展や地図活用研究会の成果を活用した授業の実施による当館地図資料の広報】

**成果** 「授業で使える当館所蔵の地図」のコンテンツ作成に取り組み、地図資料の活用を

提案することができた。

**課題** コンテンツをより多く利用していただくために、平成 26 年度作成分をホームページに掲載し、他機関との連携を図る。

#### **【図書館見学の受け入れ】**

**成果** 見学者に、当館の魅力と県の中核図書館としての役割を周知することができた。事前学習に役立ててもらうため、見学時に受けた質問と回答を、ホームページで公開した。

#### **図書館協議会による意見**

- ・レシートの上に、イベントの案内を印刷してはどうか。
- ・図書館の入り口付近に、「県図書館にはこんな素晴らしいサービスがある」「こんな資料がある」ということが分かるような工夫をぜひお願いしたい。入り口に、図書館のサービスメニューがあってもよい。

## 〇おわりに

以上のとおり、平成 26 年度「図書館評価」の概要を報告した。

この評価書は、諸般の制約の中で、十分な対応ができてこなかったことを前提としている。なお、本年度に入ってからからの状況の変化に応じ、平成 27 年度のアクションプランを一部修正し、今後の図書館運営を行っていくこととしたい。